

誤差補正処理要求仕様				優先度
ユースケース		ER. 001	計測データの補正を行うための誤差補正データを算出する。	
□□□	要求	CAR. 01	R L情報/OD情報/SP情報/TW情報を入力測情報として誤差補正データを算出し、誤差補正処理に提供すること	
	理由		経時変化や温度変化に起因する情報の誤差をソフトウェアで補正することにより、精度の高い計測データを維持するため。	
	説明		振動などによる計測器のズレや温度によるセンサーのゆがみを原因とした計測データの誤差をソフトで吸収し、常に精度の高い計測性を維持するための補正データを算出する。	
□□□	要求	CAR. 01. 01	起動時にAFF110から補正データ類を読み込むこと	
	理由		補正処理の動作に必要な補正值（補正データ）がAFF110のメモリに保存されているため。	
	説明		計測領域の情報や、最新（前回終了時）の誤差補正データなど誤差補正処理に必要な補正データ類を取得する。	
□□□	仕様		仕様の件名	
	□□□	CAR. 01. 01. 01	AFF110から自動誤差補正制御データを取得する。 (補正データ一覧) WW値 HH値 VRS値 VRE値 HHS値 HHE値 RAN値 LDV値	
	□□□	CAR. 01. 01. 02	AFF110から誤差補正データを取得する。	
	□□□			
□□□	要求	CAR. 01. 02	X11から取得したR L情報からVer誤差補正計算を行い、算出された誤差補正データをX11とAFF110に保存する。	
	理由		Hor誤差補正はVer情報が補正されている必要が有るため、Ver誤差補正を先に行う。	
	説明		Hor情報、VrP情報、VrR誤差、LiR誤差の補正を行い算出結果をX11とAFF110に渡す。	
□□□	仕様		仕様の件名	
	□□□	CAR. 01. 02. 01	R L情報をX11から取得する。	
	□□□	CAR. 01. 02. 02	Ver誤差補正計算を行う。	
	□□□	CAR. 01. 02. 03	計算結果の誤差補正データをX11とAFF110に保存する。	
	□□□	CAR. 01. 02. 04	X11とAFF110に保存されている誤差補正データと計算結果に差がない場合はX11とAFF110への保存は行わない。	
	□□□			
□□□	要求	CAR. 01. 03	S P情報/TW情報/OD情報を取得しHor誤差補正算出を行い、算出した誤差補正パラメータをX11とAFF110に保存する。	
	理由		Hor誤差補正を行わないと計測が正しく行えないため。	
	説明			
□□□	仕様		仕様の件名	
	□□□	CAR. 01. 03. 01	S P情報/TW情報をインターフェース経由で取得する。	
	□□□	CAR. 01. 03. 02	OD情報をX11から取得する。	
	□□□	CAR. 01. 03. 03	NAC情報でHor誤差補正計算を行う。S T、C U、A C、状態のときは誤差計算は行わない。	
	□□□	CAR. 01. 03. 04	計算結果の誤差補正データをX11とAFF110に保存する。	
	□□□	CAR. 01. 03. 05	X11とAFF110に保存されている誤差補正データと計算結果に差がない場合はX11とAFF110へのデータ保存処理は行わない。	
	□□□			

誤差補正処理要求仕様				優先度
ユースケース		ER. 001	計測データの補正を行うための誤差補正データを算出する。	
□□□	要求	CAR. 01	R L情報/OD情報/SP情報/TW情報を入力測情報として誤差補正データを算出し、誤差補正処理に提供すること	← 仕様の指示となっている上位要求の表現としては具体的に過ぎます
	理由		経時変化や温度変化に起因する情報の誤差をソフトウェアで補正することにより、精度の高い計測データを維持するため。	
	説明		振動などによる計測器のズレや温度によるセンサーのゆがみを原因とした計測データの誤差をソフトで吸収し、常に精度の高い計測性を維持するための補正データを算出する。(算出した)	← これが要求ではないでしょうか
□□□	要求	CAR. 01. 01	起動時にAFF110から補正データ類を読み込むこと	← 仕様が入っている(仕様の表現を変えただけ)
	理由		補正処理の動作に必要な補正值(補正データ)がAFF110のメモリに保存されているため。	
	説明		計測領域の情報や、最新(前回終了時)の誤差補正データなど誤差補正処理に必要な補正データ類を取得する。	← これが要求では
□□□	仕様		仕様の件名	
		□□□ CAR. 01. 01. 01	AFF110から自動誤差補正制御データを取得する。(補正データ一覧) WW値 HH値 VRS値 VRE値 HHS値 HHE値 RAN値 LDV値	
		□□□ CAR. 01. 01. 02	AFF110から誤差補正データを取得する。	← 補正データに制御データのような種別はないか
		□□□		
□□□	要求	CAR. 01. 02	X11から取得したR L情報からVer誤差補正計算を行い、算出した誤差補正データをX11とAFF110に保存する。	← 仕様と思われる表現が入っていると思われる
	理由		Hor誤差補正はVer情報が補正されている必要が有るため、Ver誤差補正を先に行う。	← この理由は要求を支持していますか要求の理由となっているか
	説明		Hor情報、VrP情報、VrR誤差、LiR誤差の補正を行い算出結果をX11とAFF110に渡す。	← これは説明でしょうか?、仕様のようにも思われます
□□□	仕様		仕様の件名	
		□□□ CAR. 01. 02. 01	R L情報をX11から取得する。	
		□□□ CAR. 01. 02. 02	Ver誤差補正計算を行う。	
		□□□ CAR. 01. 02. 03	計算結果の誤差補正データをX11とAFF110に保存する。	← この2つは分割基準に従って書き直す必要が有る
		□□□ CAR. 01. 02. 04	X11とAFF110に保存されている誤差補正データと計算結果に差がない場合はX11とAFF110への保存は行わない。	← 否定表現が入っている
		□□□		
		□□□		
□□□	要求	CAR. 01. 03	S P情報/TW情報/OD情報を取得しHor誤差補正算出を行い、算出した誤差補正パラメータをX11とAFF110に保存する。	← CAR. 01. 02と同様
	理由		Hor誤差補正を行わないと計測が正しく行えないため。	← この理由は要求を支持していますか要求の理由となっているか
	説明			
□□□	仕様		仕様の件名	
		□□□ CAR. 01. 03. 01	S P情報/TW情報をインターフェース経由で取得する。	
		□□□ CAR. 01. 03. 02	OD情報をX11から取得する。	
		□□□ CAR. 01. 03. 03	NAC情報でHor誤差補正計算を行う。S T、C U、A C、状態のときは誤差計算は行わない。	← 2仕様が入っている
		□□□ CAR. 01. 03. 04	計算結果の誤差補正データをX11とAFF110に保存する。	← この2つは分割基準に従って書き直す必要が有る
		□□□ CAR. 01. 03. 05	X11とAFF110に保存されている誤差補正データと計算結果に差がない場合はX11とAFF110へのデータ保存処理は行わない。	← 否定表現が入っている
		□□□		